



兵庫ダンプ

建交労兵庫ダンプ支部機関紙

第82号

2014年6月1日

全日本建設交運一般労働組合
兵庫ダンプ支部
電話：078-652-0467
神戸市兵庫区駅南通3丁目4-33

神戸市内で行われた第85回メーデー



第85回 兵庫県 中央メーデーに参加

5月1日(木) 神戸市中央区の東遊園地にて、第85回メーデーが行われました。各支部・労働組合・企業組合等の人たちが集まり、発言やパレードを盛り上げました。メーデーといえば東京の代々木公園で労働組合団体が集会を開くのが通例ですが、日本で初めてメーデーが行われたのは大正9年(1920)年で場所は上野公園です。第二次世界大戦中は官憲の弾圧が厳しく一時中断してしまいました。昭和20年(1945)年に再び開催され、それ以来現在まで続いています。抑々メーデーの起源は、1

886年5月1日、アメリカの労働組合が8時間労働制を要求してストライキ・デモ行進を行ったことが起源です。当時は12~14時間労働が当たり前でした。このため、アメリカの労働者は「第1の8時間は仕事のために、第2の8時間は休息のために、そして残りの8時間は、おれたちの好きなことのために」という「8時間労働の歌」を歌いながらたたか

り、8時間労働制をかちとりました。しかし、運動の中心地だったシカゴでは5月4日、ヘイマーケット広場に集まったストライキ参加者を武装警官が襲い、多数の死傷者が出たのをきっかけに、資本家側は8時間労働の約束をほごにします。そこで、労働者側は、ふたたびゼネストでたたかうことを決め、世界に共同行動を呼びかけます。これにこたえて、労働組合・社会主義運動の国際組織だった第2インターナショナルは89年7月の創立大会で、この日を「法律で8時間労働日を決めるよう要求する国際デモンストレイションの日とする」と決定。翌90年に各国で第1

回メーデーが実施されました。国内では、労働基準法を守っている企業もあるが、労働者からはまだまだ喜びの声は遠い。無くならないブラック企業。働く職場の現実。実は、残業代ゼロ、労働時間の超過。声を上げて企業のトップに交渉すれば切り捨てとすう現状から、中々雇用されている側は弱い立場で声も上げられない。大手企業では、アベノミクスが実感出来ている所もあるが、中小企業は無しのつづて。若者に未来が持てる社会作りが本当に必要なです。

兵庫ダンプ支部の協力業者の紹介

「関西オートスタイル」です。トラック・乗用車・重機・農機具を高価買取いたします。車検切れや不動車でもなんでも買い取ります。ご面倒な廃車書類手続きも無料です。廃車最低買取価格、普通車1万円・軽自動車5千円を保障します。

※地域により無料引き取り出来ない場合がありますので必ずお問い合わせください。

担当 オクダイラ

080(3279)6132

山びこ

▼収入が増えない中の消費税3%アップは、国民の生活を破壊し財布の紐を硬くしています。▼最近では、消費税アップの次

によく聴く問題、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)関税の撤廃と各国の様々なルールや仕組みの統一が目的。▼このTPPは、もともとシンガポール・ニュージーランド・ブルネイ・チリが立ち上げた。そして2010年にアメリカ・ペルー・ベトナム・マレーシア・オーストラリアが参加。2015年カナダ・メキシコが続いて参加。この参加のトップがアメリカである。▼この参加には賛否両論あり非常に難しい。メリットは、関税の撤廃・引き下げにより海外の物が安価に輸入できる可能性がある。企業も海外進出しやすくなる。これにより日本のGDPが2.7兆円(0.54%)増加すると内閣では試算している。▼デメリットは、自由に貿易が出来る格安の商品増加で、倒産する企業が増え、食は自前の原則を壊す。とりわけ日本の農業は大打撃を受けます。雇用も確保できない。食・物品の安全性の低下。国民皆保険制度が維持できなくなり、医療保険が上昇し盲腸の手術だけで200万円の恐れも出てくる。▼参加しない分らないことも多いのが現状。一個の独立国として大企業の利益でなく国民の利益重視を。